

昭和53年度水道事業会計予算 第2次拡張工事を重点に編成

年々増え続ける市民の生活用水を確保するため、市では水道施設の拡張や改良工事に努力してきたところですが、昭和53年度は第2次拡張事業の最終年度として、長木、上川沿の新給水区域に対する配水管の布設工事と川口簡易水道と上水道を終る長木川水管橋の架設工事及び山館浄水場ほか新施設の環境整備工事に6億1,712万8,000円の事業費を予定しています。

昭和50年度からはじめられた第2次拡張事業の総事業費は43億6,400万円で、このうちの40億2,000万円は国からの借入金であり、今年度はこの借入金の利子返済と新施設の減価償却費だけでも4億4,552万5,000円が必要となります。

水道事業の経営は、市の会計とは別になっており、水道料金収入だけでまかなう独立採算制をとっていることから、経営が赤字になっても、市の税金で穴あめることはできません。そこで今年度は

(収益的収入及び支出)

単位千円

費目	53年度	52年度	増減
収入			
水道料金	314,698	288,825	25,873
その他	38,269	30,392	7,877
計	352,967	319,217	33,750
支出			
人件費	106,346	86,574	19,772
修繕費	32,608	28,827	3,781
動力、薬品費	36,871	33,564	3,307
減価償却費	161,469	28,093	133,376
借入金利息	284,056	27,260	256,796
事務費その他	49,369	25,346	24,023
予備費	10,000	7,000	3,000
計	680,719	236,664	444,055
差引剰余(不足)金	△327,752	82,553	

一般会計から2億2,000万円の借入をしているものの、収益的収入及び支出では3億2,775万2,000円の不足を生ずる見込みです。

この不足金については、今後計画的に解消を図っていきますが、これからの水道財政はいよいよきびしいものと予想さ

れます。市民の皆さんの水道事業に対するご理解とご協力をお願いします。



'78 ミス観光大館
佐藤有子さん(20)

有子さんは、田町で建設業を営む佐藤信一さんの長女で、東中から桂高校、聖霊女子短大英文科に進み、今年3月に卒業、この4月から秋田銀行大館支店に勤務しています。仕事に慣れるため一生懸命の有子さんを職場に尋ねてみました。

○ミス観光大館に選ばれたご感想は

「まさか私が選ばれるなんて、とてもはずかしくて…」

○趣味は

「油絵、読書、レコード鑑賞、それに旅行が好きです」

○これから行ってみたいところは

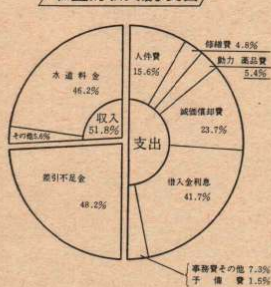
「野性味豊かなアフリカへ行行ってみたいです。」

○最後に市に希望することは

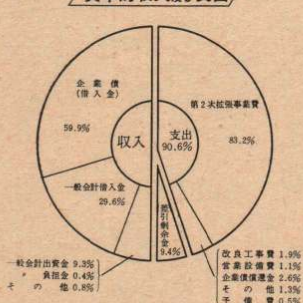
「旅行などで訪れる人たちが『よいところだなあ』と感じられるまちにして欲しいです。」

有子さんは、身長160cm、体重52kg、明るく、さわやかな感じのお嬢さんでした。

収益的収入及び支出



資本的収入及び支出



標準小作料を改訂 ～上田で10a当り38,000円～

市の標準小作料が改訂されました。これは、農業機械のめざましい普及、農業資材の大量投入等により、生産費が大幅に値上がりしているものの、米価の値上がり等もあり、収益も高まってきていることから改訂されたもので、3年ごとの改訂は農地法にも規定されています。

今回の改訂にあたっては、農林省及び県の指導に基づき、地域における昭和52年度の農業生産費の実態とその収益を基礎に算定され、さらには小作関係にある農家や学識経験者などからなる「小作料協議会」で、実際に小作関係農家(貸し手及び借り手)自身の意見などを十分に集約したうえで、3月30日の農業委員会総会で決定したものです。

この標準小作料は、昭和53年度から実施されるもので、昭和45年10月1日以降に賃貸借契約したものに適用されそれ以前から継続している小作関係につ

いては、統制小作料によりますのでご注意ください。又、本市ではいままでも水系地区ごと(米代川、引欠川、長木川、下内川の各水系)に小作料を定めていたが、最近では基盤整備の進行、集団栽培組合の組織化等により、収量の地域差が少なくなってきたことから、今回から市全体を一本化しました。

改訂後の標準小作料

(10アール当り)

区分	地域	市	全	地	域
上	田	38,000円			
中	田	33,000円			
下	田	28,000円			
畑		4,500円			

5人の観光娘が誕生

大館市の観光を広く宣伝するため、代表的な観光娘を…とのことで、観光協会主催で募集していた「ミス観光大館」の審査会が3月26日に秋北ホテルで行われました。

審査会は、応募者21人中19人が参加、報道、美容、デザイン関係などの代表者からなる7人の審査員が、1人1人に質問し、容姿50点、明朗性20点話し方など30点、計100点として、最高点を競うという方法で約2時間半にわたって行われ、次の方々がみごとミス、準ミスの座を獲得しました。

<ミス観光大館>

佐藤 有子さん(20歳・田町)

<準ミス観光大館>

高藤 正子さん(20歳・雪沢)

小林 成江さん(18歳・川口)

上田 美子さん(21歳・御成町一)

芳賀栄津子さん(22歳・常盤木町)

ミス、準ミスの5人は認定証と協賛家具店からの家具が贈られ、ミス観光大館の佐藤さんはグアム島招待も約束されました。又、この5人は市の各種観光行事への参加が義務づけられています。

全国防犯運動標語を募集

警察庁と全国防犯協会連合会では、防犯のための標語を募集しています。どしどしご応募ください。
募集期間・5月1日～31日(当日消印有効)
募集テーマ・(1)空き巣の防止 (2)自転車盗の防止
応募資格・一般及び児童、生徒の方で年齢、性別は問いません。

応募方法・普通はがきにテーマと標語(自作、未発表のものに限る)、それに住所、氏名、年齢、職業(又は学校名と学年)を書いてください。枚数の制限はありません。

送り先・〒102 東京都千代田区紀尾井町3-47 警察共済ビル内(財)全国防犯協会連合会「防犯運動標語」係
発表・8月31日まで入選者へ通知します
賞品・一般及び児童、生徒の部にそれぞれテーマごとに表彰盾と賞金などを贈呈

※詳しくは警察署防犯係へお問い合わせください。
電話 42-4111

こんにちは！ 保健婦です

◆ 脳卒中で倒れたら……………

3、4月号のこのコーナーでは「成人病のきっかけをつくらないために」をお伝えしました。高血圧の方や家族の方は、日頃から十分に気をつけているとは思いますが、今回は不幸にして脳卒中で倒れた場合の処置についてお伝えします。

<倒れた直後の処置>

- ・あお向けに寝かせ衣服をゆるめ楽な姿勢にします
- ・高い枕をあてがってはいけません
- ・頭を冷やすのは顔色が赤いときだけにし、氷のうや氷枕の使用は体温が38℃以上のときだけに限ります
- ・吐気があるときは顔をマヒしていない側に向かせます

・倒れて30分以内の患者は寝まきや、パジャマに着換えさせてはいけません。着換える時期は医師の指示によります。

・意識のないときに大声で呼んだり、体をゆり動かすのは禁物です。

<絶対安静期の生活>～病気の進行が停止するまでの期間

- ・食事は、医師の許可がでたら、顔をマヒしていない方に向け、すいのみで薄味にした流動食(重湯牛乳、卵黄、野菜スープ、果汁)を与えます。
 - ・用便は「しびん」と「おまる」を使用し、患者の便意をいち早く察し待たせないようにします。又排泄の後は清潔に保ち、特に女子の場合は尿道が短いため膀胱炎の予防のためにも大事です。
 - ・体には無理な動きをさせないようにし、寝具をはいだとき温度が急激に低下しないよう室温に気をつけます。
 - ・意識が混濁している場合は、おむつをあてがい1～2時間ごとにぬれていないか注意します。
- 以上が絶対安静期に必要なことがらですが、細部にわたっては医師の指示によって行なって下さい。